

研修指導および評価にあたっての注意点

1. 指導および評価について

研修指導および評価は、日本航空医療学会認定指導者またはそれに準じる経験を有する救急専属医で、各施設の救命救急センター長が認めた研修指導者が行う。

2. 研修終了前に（短期コースでは1週間前、長期コースでは2週間前）、研修者は自己評価表を提出し、それに基づき研修指導者による評価を行う。この際に、「不可」のある場合には、残りの研修期間中にこれらが解決されなければならない。

3. 搭乗研修報告書の提出について

研修者は実際の全搭乗研修について、搭乗報告書を所定のフォームに基づき作成し提出する。

4. 研修終了時に再度、研修指導者による評価を行う。

- 1) GIOにおいて「良」以上が3項目以上
 - 2) SB0-1において「良」以上が4項目以上
 - 3) SB0-2,3において「良」以上が7項目以上
 - 4) SB0-4において「良」以上が5項目以上
- 以上をもって、研修合格の必要条件とする。

5. 総合評価および追加・再研修について

研修指導責任者は、それぞれの研修項目に関する評価に基づき、最終的な総合評価を行う。「可」以上の評価をもって研修合格とする。更に指導が必要であると判断された場合には、HEM-Net 事務局ならびに施設間で調整の上、追加研修もしくは再研修を行うことができる。

6. 修了証の発行について

総合評価にて「可」以上を研修合格とし、研修修了証を発行する。